親子を結ぶ、地域と結ぶ情報紙

こもんず

VOL.52
2023年３月16日発行

「子どもは、子どものやり方で、新しい明日を連れてくる」～途上国で子どもたちの教育・生活環境の改善などの草の根支援をする団体のカレンダーの中で見つけた言葉です。子どもへの信頼を感じる言葉でどんな時もこういう気持ちを忘れずにいたいと心強い気持ちになります。地域、社会で子育てにおいて私たちの合言葉になりそうです。

～3月から5月までのこもんず相談活動予定～

子育てに悩みや不安を感じている保護者の方に「こもんずカフェ」と「こもんず広場」を提供しています。小中台公民館でそれぞれ月１回開催しています。お気軽にご参加下さい。

「こもんず☆カフェ」（個別相談）

～ちょっとした悩みを、相談のプロが１人ずつ 50分ゆっくりお聞きします。～

地域には様々な機関があります。こもんずカフェは一緒にお話しすることで気持ちが晴れるそんな場です。継続相談はできませんが、必要なケースの場合専門機関等をご紹介します。

●日程と相談員
４/17(月)　9時～12時　美嶋稲美先生(保育士)
５/23(火)　13時～16時　稲岡郁子先生(臨床心理士)

●会場　小中台公民館

●申込　E-mail：konakadaicommons@yahoo.co.jp
TEL　：090-7707-2175　(菊池まり)

※お名前・連絡先・希望時間(4/17は９時・10時・11時 5/23は13時・14時・15時から50分です)とご相談内容を簡単にお知らせ下さい。

「こもんず広場」(子育て井戸端会議)

話し手が話し終えるまで遮らない、否定しない、口外しない等のルールのもと、安心した環境で気軽に他の参加者と子育てに関する情報交換や悩みを相談しあえる場です。保育士の美嶋稲美先生等が進行役となりお話を進めていきます。

●開催日程　2023年　5/15(月)　10:00～12:00
以降の日程はHPに掲載します。
下記LINEで「家庭教育支援チームこもんず」を登録された方にはメールでお知らせします。

●会場小中台公民館
※事前の申込みは不要ですが、当日、会場の定員で締め切る場合がありますので、あらかじめご了承ください。※当日は受付で「受付・健康チェック表」の記載をお願い致します。

こもんず活動日程をお知らせするコミュニケーションアプリLINEご活用ください！

開催予定日等をコミュニケーションアプリLINEにてお知らせします。『家庭教育支援チーム こもんず』の登録お願いします

▼LINE　ＱＲコード
▼LINEＵＲＬ　https://lin.ee/Gosz5di

地域情報　『学びたい』を応援します

社会福祉協議会では低所得世帯を対象に教育支援費(授業料など就学に必要な経費)や就学支度費(入学金など入学に際し必要な経費)の貸付を行っています。貸付の対象や条件など詳細については下記にお問い合わせ下さい。

●貸付上限額　教育支援費　高校：月35,000円以内
高専・短大：月60,000円以内
大学：月 6,500円以内
就学支度費　500,000円以内

●据置期間　卒業して６か月以内
●返済期間　原則１０年間
●貸付利子　無利子

●問合せ先　千葉市社会福祉協議会稲毛区事務所　043-284-6160（稲毛区在住の場合）

編集・発行　家庭教育支援チーム「こもんず」
事務局　千葉市稲毛区小仲台９－30－１(園生小学校内)
FAX　043-284-4971「こもんず」宛て明記
E-mail　konakadaicommons@yahoo.co.jp
HP　http://konakadaicommons.jimdo.com/

QRコードからこもんずのHPがご覧になれます

「活動報告」　2022 年 12月～2023年3月

小中台小 PTA「子供の本を楽しむ会」と毎年講座を実施しています。計画段階から「こもんず」も参加し、講師・会場・進行方法等を決めます。今回は小中台小学校の全保護者対象の講座として実施しました。

小中台小 子どもの本を楽しむ会「井戸端会議」　12/19 実施 小中台公民館集会室(和室)

～大人にも響く絵本の時間～　　講師 小中台小保護者 OG 鶴岡敦子さん

アンケートより：「子ども達も大きくなり、絵本にふれる機会も少なくなっていたので、絵本のすばらしさや子供に絵本を読み聞かせていた頃を思い出しました。」「絵本を読んで頂くことで、心がゆったりできました。」「家にある本、本屋さん、図書館でたまに絵本をながめる時間を作ってみたいと思いました。」「沢山の絵本をご紹介頂きました。子育ての参考になる本もあり、とても嬉しく拝聴しました。先生のやさしい声で読まれる絵本の時間がステキな時間になりました。」

「こもんず」で行うアンケートに「性教育についてのお話を聞きたい」という意見が多くあります。今回は学校で行われている性教育について学ぶ講座を、２つの公民館と共催しオンラインで開催しました。

小中台公民館・幕張公民館・こもんず共催　地域子育て支援講座「性教育講座」　オンライン講座　2/18(土)実施

「どうする？性教育～養護教諭から聞く学校の性教育のいま」

家庭での性教育が大切とは聞くけれど一体何をすればよいのか、学校では何を教えているのかわからない。そんな保護者のために、小学校養護教諭が、学校で子供たちがどのようなことを学んでいるのかをお話します。

～学校で教わること・教わらないことを知り、普段のコミュニケーションのヒントに！～

講師：岸平直子
（千葉市立新宿小学校養護教諭 千葉市養護教育部会長）

講座内容
- 小学校での指導内容・中学校での指導内容
- 生命の安全教育について
- 家庭での性教育について

参加者の声から

「夫婦で受講、パパ友と家庭での性教育について話してみようと思った。」「我が子がどのように教わってくるのか、その時に自分たちがどのように性への関心に対応していくかをイメージすることができた」「‘自分の体に変化が起こった時に驚かないように’という授業の意義を伝えて、子どもたちの心配や不安を和らげるような授業がされていることはよいと思った」「親として何ができるか考えるが、自然体であまり前のめりでなく見守る姿勢でいいと思えたことがよかった」「妊娠の経過は取り扱わない、いわゆる歯止め規定があるのは理解し難い」

「家庭教育支援事業の共催」
小中台公民館長　金谷郁義

２月１８日、家庭教育支援チームこもんずの皆さんと小中台公民館、幕張公民館が共催して「どうする？性教育」というテーマでオンライン講座を開催いたしました。この講座に参加した皆様にとって何でも話せる家族関係をつくる一助になったならば幸いです。この講座の冒頭で講師の岸平先生が座右の銘として「子育ては人生の華のとき」と述べられていたことが心に響いています。ところで公民館の役割には各種の社会教育団体の支援だけでなく、こもんずさんのような地域人材とその支援を必要とする人達をつなぐ役割があると思います。そして支援を必要とした方が将来は支援する立場になっていただければ嬉しい限りです。公民館としても家庭教育支援事業を共催することは、その過程で新たな気づき等があり、たいへん有意義な時間となりました。これからもこもんずさんとの共催により、子育て家庭を支援する事業を実施していければと思います。

学校、PTA、青少年育成委員会、保育所や幼稚園、公民館、保健福祉センター、社会福祉協議会地区部会等の代表に参加頂き、子供や子育て家庭の状況や各団体の取り組みについて意見交換や情報共有を図るとともに、地域での家庭教育支援の在り方を考える会議です。３年ぶりの対面開催で実施しました。

第2回地域協力者会議　2/22(水)実施

開催者：こもんず菊池より結成から現在に至る活動と課題等について、事務局の教育委員会より本日の会議が、こもんずの活動内容及び今後の方針課題についてのご意見を頂くだけにとどまらず、各団体との更なる連携、協力を推進する場にしたいとの発言がありました。

参加者：学校長、保育所長からそれぞれの現場の状況、コロナも比較的落ち着いて子供たちの活動が活発になってきていること、卒業式等にむけてもいろいろな緩和策が出されており、コロナ以前の活動に戻るということだけでなくコロナ禍で見直され改善された活動も取り入れより良い活動になるように取り組んでいることなどお話頂きました。公民館からはこもんずとの共催事業継続、千葉市社会福祉協議会稲毛事務所からは利用できる福祉事業について、小中台中学校区青少年育成委員会からはこもんずの事業についての質問と活動に対する提案を頂きました。稲毛保健福祉センター健康課からは行政の立場から子供や保護者の支援を行っていること等のお話頂きました。参加者のご発言を今後の活動に生かして参ります。